



# 森とおる NEWS

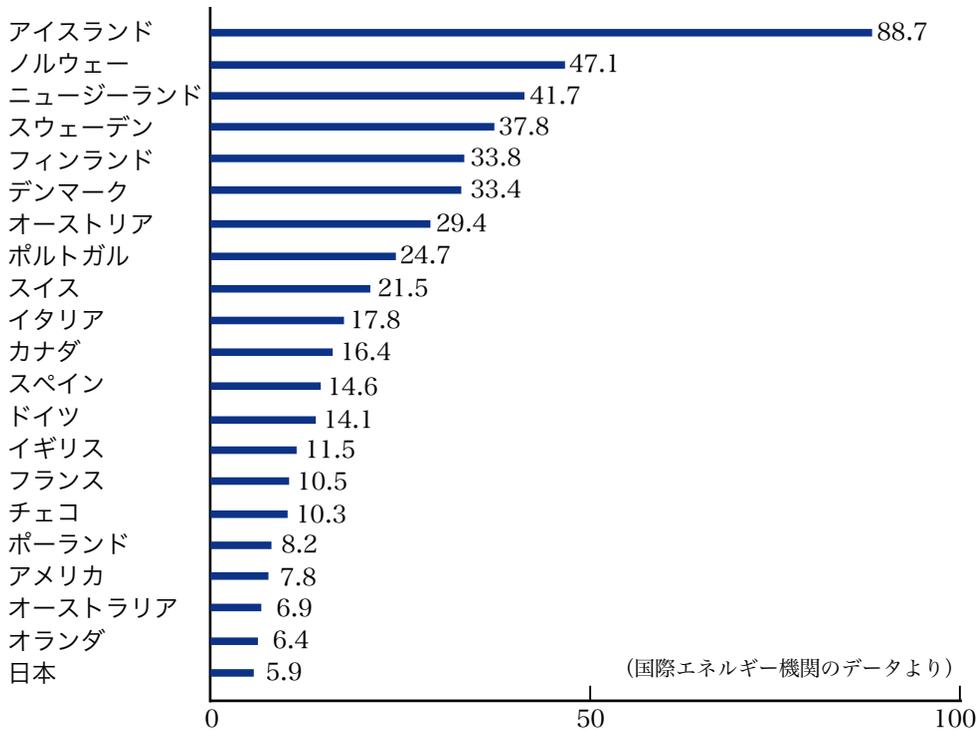
森とおる  
事務所発行

東京都豊島区上池袋 3-46-2  
東京都豊島区南大塚 1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-6-12 TEL 03(6912)0135

## 東日本大震災から10年 原発ゼロの日本を実現へ

2018年 各国の再生可能エネルギー比率



世界から立ち遅れる

### 日本の再生可能エネルギー

東日本大地震で起こった福島原発事故から10年。コロナ禍のもと、日本のエネルギーについて真剣に考える時です。

2016年に発効したパリ協定で「産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑制し、1.5℃未満に抑制するように努める」とされ

ました。

左図は、OECD主要国の総エネルギーに占める再生可能エネルギー比率です。このように日本の温室効果ガス排出ゼロは世界から遅れに遅れています。

### 原発に固執する 菅政権と財界

菅政権が昨年末に立ち上げた「成長戦略会議」で決定した「実行計画」では、「原子力の利用システムを構築する」と原発に固執し、まるで福島原発事故などなかったかのように原発再稼働政策を進めています。

これは、その直前に日本経団連が「原子力は欠く事のできない手段であり、継続的に活用していく必要がある」としたことを受けた異常なものです。

今もなお、福島原発事故は終わっていません。現在、デブリの取り出しについては見通しも立っていません。汚染水の海洋放出、核のゴミなど問題は山積みです。

昨年末時点、福島では県内外への避難者は3万7千人、帰還困難区域になっている故郷に帰れない人は8万人以上と言われています。

本来、政府は財界に意見し、原発事故を2度と起こさないようにするのが最大の使命ではないでしょうか。

世界で進む脱原発

世界全体の発電量をみると太陽光や風力が急増しています。一方で原発は廃炉が進み、今や再エネによる発電量が原発を超えています。

ドイツは、福島原発事故の時まで17基あった原発のうち8基を直ちに停止しました。デンマークは原発を持たずに、再エネで電力の70%以上を供給しています。事故当事国の日本ができません。

過去に、原発はコストが安く、再エネは高コストと言われていましたが、それも過去の遺物です。原発の1キロワットあたり約16円に対し、技術革新で太陽光や風力は4分の1程度とほかに安くなっています。

福島原発事故は未曾有の被害を社会にもたらし、政府が作り上げてきた安全神話は崩壊しました。国会には野党共同提出の「原発ゼロ基本法案」があります。一番の早道は政権交代です。